



# 白河地域在宅医療拠点センター通信

## 多職種連携会議 開催報告

日 時：平成30年3月15日(木) 15:30～17:10 場 所：白河市立図書館 地域交流会議室  
参加者：各職能団体の代表者13名、各市町村担当者6名

少子高齢化が急速に進行している状況において、従来型の医療・介護システムだけでは十分に対応していくことはできません。この白河地域においても、病院以外の自宅や施設などで最期を迎える方が急増してきていますが、医療・介護従事者数は十分というには程遠い状況下にあります。

地域住民の皆さんが安心して、最期まで住み慣れた地域で生活が続けられるようにしていくには、限られた医療・介護資源の下で、いかに多職種が連携・協働し、質の高い医療・介護サービスが提供できるか、その体制づくりが急務となっています。そのために必要なことは、医療・介護・福祉・行政等、多職種間で地域の課題を共有し、課題解決に向け協働していくことが重要となります。昨年、当センターが圏域の介護支援専門員、訪問看護師、訪問介護職員の方々を対象として行った「在宅医療・介護に関するアンケート」等から、特に多職種連携における項目での課題をピックアップし、医師会・歯科医師会をはじめ、地域の最前線で活躍されている各職能団体の代表者(13名)および各市町村担当者とともに今後の「多職種連携」のあり方について協議を行いました。在宅医療・ケアスタッフのアンケート結果から、「緩和ケア」、「栄養面からのアプローチ」、「服薬(除痛薬の知識・副作用・残薬管理)」、「認知症ケア」、「障がいを抱えた方へのケアのあり方」、「経口摂取・口腔ケア・嚥下機能」、「医療機関との連携」、「リハビリテーション」、「社会保障制度」等をテーマとし、多角的アプローチの視点から関係職種同士が講師となり、医療・介護・福祉職を対象とした「多職種連携研修会」を来年度6月から月1回開催する予定となりました。職種間、組織間の枠を超えた連携体制構築を目指していきたいと考えていますので、多くの方々にご参加いただきたく、よろしくお願いたします。研修会の日程等、決まり次第、ご案内申し上げます。(文・円谷)



### 出前講座

日 時：平成30年3月23日(金) 13:30～14:45 場 所：白河市昭和町集会所  
参加者：昭和町あったかサロン22名  
講 師：片倉クリニック 院長 片倉幹夫 先生  
テーマ：第1部：「健康・医療情報について」  
第2部：「在宅医療について考える」：当センターより  
片倉先生が日常の診療を通して、地域住民の方へ伝えていきたい、健康を保つ上で重要と考えている様々なトピックス(「白河市はなぜ心筋梗塞で亡くなる方の数が突出しているか」、「健康寿命を延伸するには」等)を取り上げ、参加者と対話形式での講話がなされました。



### 白河地域 医療・介護ネットワーク協議会

日 時：平成30年3月2日(金) 18:30～20:15  
場 所：白河市立図書館 地域交流会議室  
テーマ：  
①「白河市における認知症初期集中支援の取組み」  
南湖こころのクリニック精神保健福祉士 鈴木まゆみ氏  
②「多職種連携における残薬管理について」  
さくら薬局横町店 薬剤師 三科龍平氏  
③「入院時からの医療・介護連携による切れ目のない支援について」  
公益財団法人 星総合病院 看護師 兼子トモ子氏

参加者：在宅医療に携わる医師：6名、  
訪問看護師：6名、介護支援専門員：7名、  
3病院(看護師・MSW)：8名、各市町村担当者：2名

アンケート結果より、「今後、病院と在宅医療・介護スタッフとのグループワーク等を行いたい」との意見が約7割を占めた。「切れ目のない医療と在宅介護の提供体制」の構築をいかに進めていくか、次回開催に向け、意見等を集約していきたい。



### ACP グループワーク開催

主 催：「ACP しらかわ・医療チーム」  
(事務局・白河地域在宅医療拠点センター)  
日 時：平成30年2月22日(木) 18:30～20:00  
場 所：白河市立図書館 地域交流会議室  
テーマ：  
①「特別養護老人ホームでの看取り介護の取組みについて」  
特別養護老人ホームしらかわの里・看護師 宮田悦子氏  
特別養護老人ホーム小峰苑・介護支援専門員 長谷部伸一氏



②グループワーク『「もしバナゲーム」から考える  
アドバンス・ケア・プランニング』

参加者：医師：2名、歯科医師：1名、薬剤師：2名、  
看護師：3名、介護支援専門員10名、介護福祉士：2名